

おぢか



こうみんかん



平成29年
1月16日
第122号

あけまして、おめでとうございます。酉年は騒しいと言います。世の中がどのように変わるかわかりませんが公民館の行事、イベントは皆様に楽しんでいただけるよう努力して参りますので今年もよろしくお願致します。

第69回小値賀町成人式が開催されました！

1月3日(火)、小値賀町離島開発総合センターにおいて「平成29年 第69回小値賀町成人式」が行われました。

当日は、新たに成人となった29名が参加。成人者によるスピーチでは、近況や今後の目標などの報告が行われました。来賓として参加された方々も、小値賀出身の若者達のスピーチに頼もしさを感じている様子でした。

来賓祝辞では北村衆議院議員をはじめ来賓の方々からはなむけの言葉をいただき、新成人者全員が真剣に耳を傾けていました。

その後行われた懇親会では、遠方から駆けつけた恩師が新成人らと杯を交わし、昔話に花を咲かせていました。

式の最後には、新成人を代表して松永英太郎さんが壇上に上り、今までの感謝の気持ちや今後の抱負を堂々と述べました。新成人の皆さんの今後益々のご活躍とご健勝を心からお祈りいたします。



↑ 新成人のみなさん、おめでとうございます！

平成28年最後の合唱団・山学校の活動を行いました！



← サンタ(?)さんと一緒に記念撮影！

12月17日(土)、総合センター町民ホールにおいて小値賀青少年合唱団のクリスマス会が行われました。団員同士でプレゼント交換をしたり、出し物をしたりと賑やかなクリスマス会となりました。

また、12月26日(月)、図書館ふれあいプラザにおいておぢか山学校の門松作り教室が行われました。参加したみなさんは自分で竹を切って飾りつけを行い、無事に立派な門松を作ることができました。みなさん自作の門松といい年明けを迎えることができましたでしょうか？

今年一年もよろしくお願致します！



→ 自分で作った門松と一緒にハイポーズ！

図書館から新刊図書の紹介

【一般書】

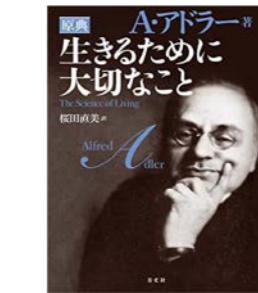
- ◆ 生きるために大切なこと [A・アドラー]
- ◆ スタンフォードの心理学講義 人生がうまくいくシンプルなルール [ケリー・マクゴニガル]
- ◆ 日本人が教えたい新しい世界史 [宮脇 淳子]
- ◆ 暴走する中国が世界を終わらせる [宮崎 正弘(他)]
- ◆ 宗教・地政学から読むロシア「第三のローマ」をめざすブーテン [下斗米伸夫]
- ◆ パナマ文書 [バステアン・オーバーマイヤー(他)]
- ◆ 日本の教育の危機はどこにあるか [陰山 英男(他)]
- ◆ 50歳から毒を出す女(ひと) ためる女(ひと) [蓮村 誠]
- ◆ はじめての家づくり(特装版)
- ◆ つくって楽しむ わら工芸 ー生活用具・飾り物・縁起物ー
- ◆ かんたん手作り 和布で楽しむ飾り物
- ◆ おいしくて大満足！ 減塩&低カロリーのダイエット鍋
- ◆ ゆるミニマルのスヌメ
- ◆ 宿根草でつくる自分好みの庭
- ◆ 発達障害の僕が輝ける場所をみつけられた理由
- ◆ 夏井いつきの超カンタン！ 俳句塾
- ◆ 最悪の將軍
- ◆ 綴られる愛人
- ◆ 十二人の死にたい子どもたち
- ◆ ヴァラエティ
- ◆ 秋萩の散る
- ◆ 失踪者
- ◆ 白衣の嘘
- ◆ アノマリー ～水鏡推理～
- ◆ 桜風堂ものがたり
- ◆ 執着

奈良尾町ボランティアグループ「とみなが」さんの

とくべつな おはなし会

★日時： 1月28日(土) 午後 2時～
★場所： 図書館

みんな来てね～！



【児童書】

- ★ にわとり城 [松野 正子]
- ★ パースデーカード [吉田 康弘]
- ★ 空飛ぶリスとひねくれ屋のフロア [ケイト・ディカミロ]
- ★ ミミとまいごの赤ちゃんドラゴン [マイケル・モーパゴ]
- ★ カミカミおもしろ だ液学 [岡崎 好秀]
- ★ ただしい もちかたの絵本 [WILLこども知育研究所]
- ★ お母ちゃんとの約束 [望月 泉]

【絵本】

- ★ あおの じかん
- ★ うおいちば
- ★ これは すいへい せん
- ★ にぎやかな えのぐばこ
- ★ パンダ ともだち たいそう
- ★ ゆき ゆき ゆき



遊遊句抄

兼題 北風 冬服 海鼠(なまこ)

北風が手先痺れる帰り道 北風の方向教える爺の指	北風に乗って旅立つ甥葬る 酒進む箸も進むやナマコ刺	北風や波高気にす旅前夜 冬服や黒系統の並びたる	年金日冬服の列バスを降り 初海鼠うすくうすくと刃を入れる 一穂	北風の尖り巖は抗えり 老いるとは捨て去ることと海鼠噛む	北風や灯火の郷を荒び抜く 深海の海鼠となりて眠りたし	冬服は我身に重し通学路 冬服は質流れなり遠き日よ	北風に吹き晒されて人と犬 島人は北風の海通院す	冬服はいらないでしよう脂肪着て たとうれば我が生き様もなまこなり	北風が吹き晒されて人と犬 島人は北風の海通院す	行商婦からから声や北の風 腰曲げてなまこく突く漁夫船溜り	北風がおぢか名物干し上ぐる 傾ぎたる家や倒さめ北の風
姜リリー	利石	小梅	月歩	値賀助	静帆	紫紅	香松	松月			

『第34回 少年の主張発表大会』発表原稿紹介

平成28年11月12日（土）に開催された「第34回少年の主張発表大会」。おぢか新聞の最優秀受賞作品紹介に合わせて、公民館だよりでも優秀・入選作品を紹介しています。今回紹介するのは中学生の部の作品です。子どもたちの主張に是非、耳を傾けてください。

中学校の部 入選作品 題：「わたしとピアノ」

小値賀中学校1年 遠山 彩香（とおやま あやか）

「あなたは、何が好き？」と聞かれると、私は、「ピアノが好き」と答えます。

なぜ私がこれほどピアノに興味をもったかという、それはある出来事がきっかけでした。四歳の時、私は初めて自分で譜読みをして、ピアノが弾けるようになりました。このときに、「ピアノってなんて楽しいだろう！」と感激し、すっかりピアノの魅力に取りつかれてしまいました。そして今は、そのとき以上にピアノが大好きです。

今改めて、ピアノが好きな理由を考えたら二つあります。

一つ目は、誰もが知っている曲や難易度が高い曲をピアノで弾けたときの快感です。例えばベートーベンやシューベルト、モーツァルトなどが作曲した曲です。弾けるようになるまでは、たくさん練習をしなければなりません。でも私は練習が苦手です。難しい音符を読んだり、弾いたりするので、途中であきらめることも多々あります。それでも家族や先生の温かい言葉が支えになって、

毎日練習して、うまく弾けるようになったときは、自然と笑みがこぼれ、喜びと達成感を感じます。

また、さまざまなアーティストの最近の曲をピアノバージョンで弾けるようにも練習しています。これもいろいろアレンジして、自分のイメージどおりに曲が弾けるようになったら最高です。

二つ目は、いろいろなコンクールに挑戦できるからです。初めて出場したのは、五年生の時です。初めてのコンクールということでとても緊張し、手足が震えていたのを覚えています。そこでは「銅賞」を取ることができました。審査発表を聞いたときは思わず飛びあがり、すごく嬉しかったし、また達成感も感じました。そして、六年生の時も出場しました。レベルが上がって、審査も厳しく、曲の難易度も高いコンクールでした。そこでは、あと少しのところまで賞をとることができませんでした。すごく悔しかったです。その時、先生に「自分が一生懸命頑張ったんだから大丈夫。」と励ましの言葉をいただいて、「よし、次また頑張ろう！」という気持ちになれました。そして今、次のコンクールに向けて練習をしています。今までよりも技術を上げて、本番で全てを出し切り、良い演奏ができるように頑張りたいと思います。

このように、私にとってピアノは生活の一部だといっても過言ではありません。もしもこの世にピアノが存在していなかったらきっと損をしていたことでしょう。ピアノを奏でる楽しみも無くなるし、演奏後の喜びや達成感も味わえないと思うからです。私にとってのピアノは、語り手というものだと思います。突然ですが、みなさんは「エリーゼのために」という曲をご存じですか。とても有名な曲ですから知っている方も多いと思います。この曲はベートーベンが一目ぼれした女性のために作曲したものです。結果は叶わぬ恋で終わってしまいました。私はこの曲を聴いて、まさにそのものを思い描きました。この曲以外にも、作曲者の人生などが一曲に詰まっていて、それを語ってくれるのがピアノだと思います。だから弾く時も、どういう場面なのか、主人公はこんな気持ちなのかな、と考えながら弾いています。

私の将来の夢は、ピアニストになることです。資格はまだありませんが、「音楽大学」に進むこと、または有名なコンクールで賞を取ることが夢に近づける近道なのです。しかし、近道といってもそう簡単に通れる道ではありません。たくさん練習して努力と経験を積み重ねていくことが必要です。だからこれからの練習は、将来の夢を叶えるためにも重要になっていくと思います。今のうちにしっかりと先生の指導を聞いてすることや、技術を伸ばしていきます。

これからも私はピアノを続けていきます。夢を叶えるためにも、たくさんの曲に出会い、もっと好きになっていきます。



中学校の部 優秀作品 題：「あいさつの役割」

小値賀中学校2年 福崎 結衣（ふくざき ゆい）

「おはよう。」「こんにちは。」

みなさんは、挨拶をしっかりとしていますか。私は先生方、地域の方、家族、友達に対してちゃんと挨拶をしています。しかし、前は先生方と友達にしかしていませんでした。挨拶はすればいい、としか思っていませんでした。だけど今はそうは思っていません。挨拶は人と人をつなげる大切な役割を果たすものだと思います。

例えば、朝登校してクラスに入った時、目が合ったのに知らんぷりをする人がいたらみなさんどう感じますか。きっと嫌な気分になり、一日気になってしまうのではないかと思います。幸い私のクラスではそういうことはまったくありません。

しかし、学校ではみんなできていることが、地域で果たしてちゃんと

できているのでしょうか。ましてや、家族にもしているのでしょうか。朝起きてきて、「おはよう。」そのたった一言を言えるのでしょうか。

実は私はそのたった一言を言っていないでいいと思っていました。でも今は、必ず言うように心がけています。

挨拶は学校、地域、家族や友達など関係なく、自分からすることが大切だと思います。時には、自分から挨拶しても挨拶を返してくれないときもあるかもしれません。だからといって、その人に対して、もう挨拶をしないというのはおかしいと思います。そんなときは、「ああ、こっちの声が小さくて聞こえなかったのかな。」と思い、また会った時に前より元気な声で挨拶をすればいいと思います。そうしたら、気持ちよく挨拶できるのではないのでしょうか。

昔、私が住んでいる小値賀が、国語の教科書で「挨拶が活発な町」と紹介されたことがありました。私はその話を聞いたときに、小値賀の人たちを尊敬し、とても誇りに思いました。挨拶で紹介されるなんて相当すごいことだと感じました。

でも今は、そんな周りに誇れるような挨拶をしている人は少ないのではないのでしょうか。挨拶は一部の人だけでなくてもあまり意味はなく、みんなでするからこそ意味があると私は思います。みんなで心がければ、もっと良い「挨拶の町」小値賀になると思います。

最初にも言いましたが、挨拶は人と人をつなげる役割があると思います。そして礼儀でもあります。人と人が気持ちよく生活する上で挨拶は必要不可欠です。

私は学校で先生から、「挨拶は自分から大きな声でしなさい。」と言われることがあります。意識しているつもりでも、つい見過ごしてしまうことがあります。また、先生からこんなことを言われたこともあります。「挨拶は意識することも大事だが、人として自然にできることだと思う。」私は、「人として自然にできること。」という言葉に納得させられました。人と会ったら挨拶する。これは難しいことではありません。自然に当たり前に行えることだと思います。

私は、以前の自分の生活を振り返ってみると、挨拶をしていないことが結構ありました。みなさんは今の自分の生活を振り返ってみてどうでしょうか。ちゃんとしているという人もいるでしょうし、できていないと思った人もいるかもしれません。できていないと思った人は、今日から出会った人に挨拶をしてみてください。私もしっかりとできていると実感できるような気持ちのいい挨拶を心がけたいと思います。

挨拶は、人として自然にできること、当たり前に行えることでもあり、人と人をつなげる役割でもあるし、礼儀でもあります。私はこのことを忘れずに、出会った人みんなに自分から、大きな声で挨拶をします。

